

平成23年9月 台風第15号豪雨から10年 これまでの歩み

平成23年台風15号の気象概要

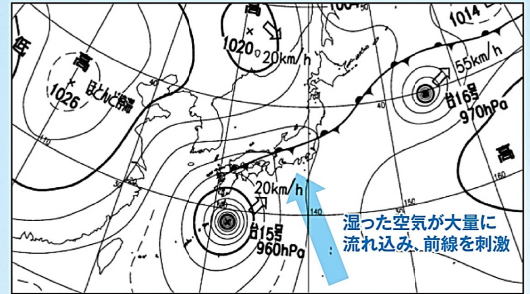
平成23年9月20日、九州の南にある台風第15号から本州上に停滞する前線に向かって湿った空気が流入し、岐阜県から愛知県にかけての一部地域で大雨となりました。

庄内川流域では中上流部を中心に大雨となり、庄内川上流部(土岐川)にある多治見雨量観測所(岐阜県多治見市)では、9月20日12時に1時間最大雨量64mmを記録し、9月19日18時の降り始めからの累加雨量は477mm(H12.9東海豪雨時は367mm)に達しました。

これにより、庄内川中流部の志段味水位観測所では、氾濫危険水位(5.50m)を約6時間にわたって超過し、ピーク水位はH12.9東海豪雨を約0.5m上回る6.87mを記録しました。

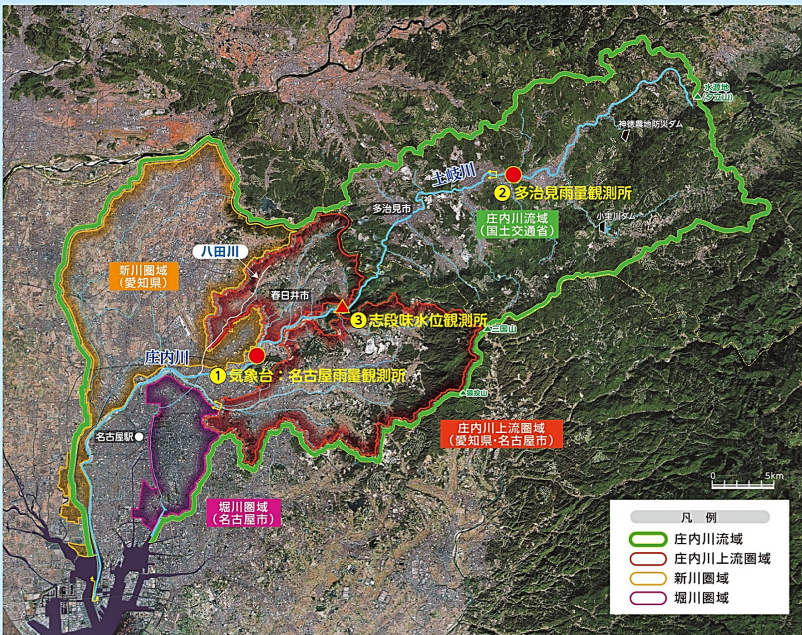
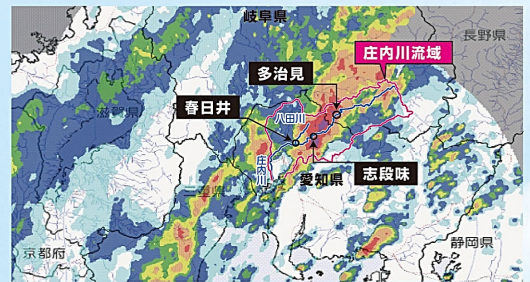
地上天気図

平成23年9月20日9:00時点



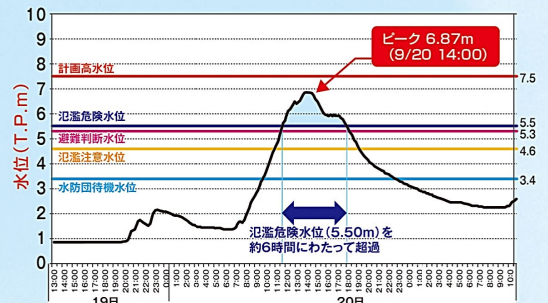
XバンドMPLレーダー雨量

平成23年9月20日13:00時点



志段味水位観測所の水位

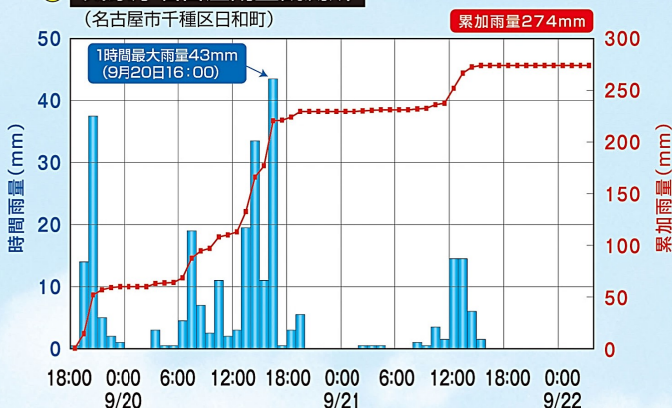
平成23年9月19日~20日



時間雨量及び累加雨量

① 気象庁名古屋雨量観測所

(名古屋市千種区日和町)



② 多治見雨量観測所

(岐阜県多治見市豊岡町)

